

2019年度

# 西宮文学案内

後期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。  
関わりある作家・作品などをとり上げ  
その魅力を探っていきます。

## 第1回 11月10日(日) 『風よ僕らに海の歌を』と西宮

第1回

14:00~15:30

小説『風よ僕らに海の歌を』は宝塚の实在のレストランがモデルです。主な舞台は宝塚と神戸ですが、西宮の武田尾温泉も重要な役割で登場します。小説の中で描いた武田尾温泉の知られざる歴史を中心にお話します。

講師：増山実 ますやまみのる (作家)

1958年大阪府生まれ。放送作家として「ビーバップ・ハイヒール」のチーフ構成等を手がける。著書に西宮が舞台の『勇者たちへの伝言』、宝塚が舞台の『風よ僕らに海の歌を』、尼崎が舞台の『波の上のキネマ』などがある。



## 第2回 12月15日(日) 『浪花女的読書案内』から見た西宮

第2回

14:00~15:30

大阪ゆかりの作家には西宮と関係をもった人が多い。連載で取り上げた30人の作家の中から強烈な印象を残す井上靖、小松左京、黒岩重吾を語ります。

講師：石野伸子 いしののぶこ (元産経新聞編集委員)

1951年生まれ。ことし5月まで勤務した産経新聞の連載記事を『浪花女的読書案内』(産経新聞編集センター刊)として出版。



## 第3回 1月19日(日) 作家自筆の手紙から読み解く西宮の風土

第3回

15:00~16:30

伝統的な文化に培われ、育った作家たちも、阪神間に住むようになると、日本的でありながらモダンな風土に馴染んでいくのが面白い。なかでも西宮を愛した作家を選び、その作品と文学世界を紹介します。

講師：河内厚郎 かわうちあつろう (文化プロデューサー)

1952年西宮市生まれ。演劇評論家として執筆業に入る。「関西文学」編集長を2期15年務める。兵庫県立芸術文化センター・特別参与。阪急文化財団理事。西宮市文化振興財団評議員。著書に『わたしの風姿花伝』『淀川ものがたり』など。時事通信の書評を担当。

講師：豊田みか とよだみか (西宮市情報公開課歴史資料チーム嘱託員、西宮文化協会会員)

平成5年より西宮市に勤務。『西宮現代史』編さん作業に従事。平成23年より歴史資料写真展を担当、平成26年から平成30年まで西宮文化協会会報に情報公開課資料の紹介記事を執筆。



会場▲西宮市立勤労会館 ホール (松原町2番37号) ※ 全回とも

・JR「西宮駅」南徒歩7分  
・阪神「西宮駅」東徒歩10分

▲単発受講可。但し、抽選となる場合は連続受講希望の方を優先します。

定員▲全回とも 400名

受講料▲各回500円

お申込み▲ハガキ、FAX、ホームページ“お問い合わせ欄”の何れかにて①受講希望日  
②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号を記入の上お申込み  
ください。

締切/10月10日(木) 必着 ※ 定員に満たない場合は締切後も受け付けます。

宛先▲〒662-0918 西宮市六湛寺町10番11号

(公財)西宮市文化振興財団「西宮文学案内」係

FAX.0798-33-3455 ホームページ <http://www.nishi-bunka.or.jp/>

※ 複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①~⑦を記入ください。

※ 定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。当落結果は10月下旬に郵送します。